

研究機関：広島大学

研究課題名 タイチン値測定による術後患者の筋損傷の評価

研究責任者名 広島大学大学院医歯薬保健学研究科麻酔蘇生学 教授 堤 保夫

研究期間 2020年7月20日(倫理委員会承認後)～2024年6月30日

対象者

2020年7月(倫理委員会承認後)から2023年6月の間に、広島大学病院手術部で手術を行われた患者を対象とします。

意義・目的

手術を施行された患者は手術の時間、体位、侵襲により程度の差はあるが筋損傷が起こっていると考えられている。筋損傷の程度が多ければ離床、術後の経過などに影響を及ぼす可能性が示唆される。タイチンはサルコメアの構造の一要素で横紋筋特異的に発現するタンパク質である。尿中、血中のタイチンは筋肉の損傷を鋭敏に反映するといわれており、術前、術後のタイチン値測定により筋損傷を評価し、術後の回復強化のための知見を深める事を目的とします。

方法

本研究は手術室もしくは病棟で診察のために採取された尿、血液の残余検体を用いて行います。それぞれ0.5ml程度の量で、測定後は速やかに破棄します。術後経過に関してカルテを参照しますが、個人を特定可能な情報は解析に用いません。

共同研究機関

なし

試料・情報の管理責任者

広島大学大学院 医系科学研究科 麻酔蘇生学 教授 堤 保夫

個人情報保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に試料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

Tel : 082-257-5267

広島大学病院麻酔科 職名 医科診療医 森尾 篤